

どう考える？収穫高と環境汚染問題

みなさん、こんにちは！

穀物繊維をテーマに雑穀・大麦・シリアルを提案しています
ライスアイランドメールマガジン♪

さて、7月1日からレジ袋が有料化されました。

買い物へ行くときに買い物袋を何枚持ち歩いていますか？

私たち1人ひとりが環境問題に対して意識していく必要があります。

今回は中国の農業の収穫高と土壌汚染についてお話したいと思います。

■収穫高が期待されるフィルム・・・大きな問題も

中国では政府が土壌汚染に歯止めをかけようとしているものの、
環境を破壊する農業用ビニールフィルムの使用拡大が見込まれているようです。
理由は、こうしたフィルム使用が生産量の増加に寄与するため。

カルフォルニア州の約半分の広さにあたる、
中国の2000万ヘクタールの農地に薄い
ポリエチレンフィルムが敷き詰められており、
その総量は約145万トン以上に上ると言われています。
このような半透明シートの使用量は、
2024年までに200万トンを超え2200万ヘクタールの
農地を覆うようになるとみられています。

中国の農地約12%以上で使われている、
このマルチ用ポリエチレンフィルムは、水分や熱を逃がさずに保ち、
雑草や害虫を防ぐことができるため人気が高まっているようです。

こうした特性は、綿花、トウモロコシや小麦の生産量を
増加させるだけでなく、耕作可能な地域の拡大にも役立つとされています。

「この技術を用いれば、収穫高を 30%増やすことができ、
十分な量の食物と繊維を生産するという課題は解決できるだろう」
と中国の農業研究者の見解もあります。

■環境汚染という代償が・・・

このようなフィルムは、微生物の働きによって分解されず
リサイクルが難しいという点があります。
がんを引き起こす可能性のある毒素がフィルムから土壤に
染み出し、環境汚染が起こる恐れもあるという。

残念ながら、ポリエチレンと同様の農業利点を持った代替物がないため、
「農家としては生産高と収入を増やすため、
ポリエチレンフィルムを使用し続けざるを得ない」という見方も。

土壤汚染が悪化する中、食の安全に対する懸念の高まりに対処するため、
中国政府は使用済みマルチフィルムのリサイクルを呼びかけ
土壤汚染防止法の制定に着手したようです。

■新たな救世主も！

スペインの科学者らは「ワックスワーム」と呼ばれる
ハチノスツヅリガの幼虫がビニールフィルムを分解すると発表。
地球に優しい代替品の研究を行っているようですが、コスト高・・・。
ポリエチレンのコストの約 4 倍だそうです。
価格の高さに加え、ポリエチレンほど保湿効果が高くない
という欠点から、綿花生産量の減少につながっているという新たな問題が。
しかし、環境コストを考慮し、総合的に判断すれば
ポリエチレンの優位性もは弱まるかもしれません。
しかし中国は、作物の収穫高を増やすため、今後もポリエチレンフィルムに
頼らざるを得ないだろうという見方も強いようです。

日本でもスーパーだけでなく、コンビニ、日用品売り場等での
レジ袋も有料になりました。
たかが袋 1 枚かもしれませんが、環境問題に対する意識づけのスタートだと思います。

本メルマガでは、中国の環境・土地汚染問題について取り上げましたが、
ライスアイランドでも中国産の雑穀を取り扱っております。
雑穀は元々非常に丈夫な植物で、農薬や成長を促進するようなものを
必要以上に使用することはありませんのでご安心ください！！

-----◇◇◆
株式会社ライスアイランド

(岐阜本社) 岐阜県岐阜市香取町3丁目38番地

TEL 058-253-0303 FAX 058-252-5115

(東京営業所) 東京都千代田区有楽町2-10-1 交通会館1F

TEL 03-5288-7700 FAX 03-5288-7701

※アンテナショップ【穀物繊維倉庫】も併設！



配信元 株式会社ライスアイランド <http://www.riceisland.co.jp/>